

第1回江南市行政事業検討委員会議事録

日 時 平成 28 年 5 月 11 日（水）午後 2 時 00 分～午後 3 時 10 分
場 所 市役所 2 階 第 2 会議室
出席者 横山幸司、武長脩行、加藤浩明、村瀬真奈美、堀部直美、長谷川清
傍聴者数 1 名
資 料 資料 1 会議の公表及び公開について
資料 2 江南市行政事業レビューについて
資料 3-1 江南市行政事業レビューの概要
資料 3-2 補足資料

- ・開会にあたり、市長よりあいさつ。
- ・各委員による自己紹介。
- ・資料 1 に基づき、会議の公表及び公開について事務局より説明。

議題（1）委員長及び副委員長の選出について

- ・委員の互選により委員長には横山委員を、委員長の指名により副委員長には武長委員を選出した。
- ・以後、横山委員長による議事進行。

議題（2）江南市行政事業レビューの概要について

- ・資料 2 から資料 3-2 に基づき、江南市行政事業レビューの概要について事務局より説明があった。
- ・質疑応答は以下のとおり。

委 員 長 行政事業レビューでは、対象事業について私たち判定員に市民評価員も含めた皆さんで議論することが大事である。今後、廃止していくのか、もっと拡充していくのか、やり方を変えた方がいいのかなどを議論することが主眼であって、行政に対する不満や陳情要請の場では無いことを、皆さんに認識して頂きたい。

本当に止めなければならない休止・廃止もあれば、より予算を付けて発展させても良いのではないかとといった拡充もあり得るわけでマイナス面ばかり議論するのではない。行政が直接行うよりも民間で行った方が、あるいは市民と協働で行った方が良いのではないか、このようなことを評価、判定することになる。

委 員 具体的にどのような事業が対象となるのか。

事 務 局 行政では継続的に実施している事業が数多く、このまま継続すべきなのか、若しくは、縮小や拡大すべきのかなど担当課に思いのある事業を取り上げたい。

また、今年度は初年度であるので、江南市戦略計画に掲げている 5 分野の中から、5 事業を選定したいと考えている。各課より 2 事業を選定し、概ね 54 事業から次回の江南市行政事業検討委員会（以下、委員会という。）で 15 事業までに絞りたいと考えている。

- 委員長 今まで行政で無意味に実施してきた事業は一つも無い。本当に優先して行わなければならないのか、この時代にそれだけの経費を投入する事が相応しいのか、行政でこのまま行うのではなく民間で実施した方が良いのではないかな等の様々な視点から議論することが非常に大事である。
- 判定においては、市民評価員を交え議論することで、市民の皆さんがどのように感じているのかを汲み取って頂き、判定員が客観的、合理的な見地から最終的な判定を行うこととなる。
- 委員 市民評価員はどのように選ばれて、どんな役割を果たすことになるのか。
- また、判定員と市民評価員の判定が割れた場合はどうするのか。
- 事務局 市民評価員は、公募委員候補者名簿から数名と、広報こうなんで数名の方を募集したいと考えている。
- また、市民評価員には、事業について質疑や議論に参加して市民目線からの意見を頂戴したいと考えている。判定員には、それらの意見を踏まえて判定をして頂きたいと考えている。
- 委員長 今回は、市民評価員には思う存分議論を展開して頂くことで、概ね賛成か反対かの意見を表明できると思われるので、判定員にはその内容を踏まえて事業を判定して頂く方式で実施する。
- 委員 市民評価員は、質疑応答の際に発言できるのか。
- 事務局 質疑や議論に参加して、発言して頂きたいと考えている。
- 委員長 質疑応答では、市民評価員になるべく多くの時間を割いて発言してもらい、判定員には私からの問いかけにより意見を頂くことになると考えている。
- 委員 事業について、どの程度の内容を知っておく必要があるのか。
- 事務局 対象となった事業の概要については、事前に説明する予定である。5事業が決定した段階で、より詳しい説明をしたいと考えている。
- 委員 委員会の中では、事業自体について議論はしないのか。
- 委員長 行政事業レビューの本番に向けて準備を進めるための委員会であるため、事業自体について深い議論はしない。
- 委員 その時のテーマによって、傍聴者数が大きく変わる。市民が行政に関心を持つようなテーマから事業を選定することになるのか。
- 事務局 各課が選定した事業を整理した後、次回以降の委員会で事業の内容を説明しながら15事業、更に5事業と段階を経て対象事業を決定したいと考えている。
- 委員 委員会での議論には、守秘義務はあるのか。
- 事務局 公開の会議であり、議事録も公表することになるので、会議の内容について守秘義務はない。
- 委員 どのような観点で各課は選定しているのか。
- 事務局 事業を拡大したい、継続して実施している事業を縮小して新しい内容に変更するきっかけにしたい、民間に任せる内容ではないのかな等の観点で各課に選定するよう依頼している。
- 委員長 私自身の経験では、事務局が勝手に事業を選定した場合、説明する担当課に事業

に対する思いが無いため、やらされ感しかなく建設的な議論にならない。事業選定は非常に大切であって、「市民から見た事業への関心度が高いこと」、「行政内部からこうしたいという思いがあること」の二つの視点を持った事業を選ぶことが大切である。

委員 事業については、どの程度理解しておく必要があるのか。

委員長 事業について最低限の理解は必要であるが、説明を聞いて感覚的に思ったことも意見としては大切である。皆さんの知識や経験が生かせる場面はきっとあるので、心配する必要はないと思う。

委員 対象事業に関する資料はもらえるのか。

事務局 資料を用意する予定である。

2 その他

事務局より、今後のスケジュールについて説明があった。

- ・委員会で出た意見は議事録として取りまとめた上で、ホームページで公開する予定。
- ・次回の委員会は6月6日（月）に第3委員会室で開催する予定。